

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.42)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う環境変化への対応として、2022年8月のデリー線および9月のコナ線の路線便数計画、ならびに、発表済みの8~9月における北米・欧州・東南アジア路線の追加増便を決定しました。旺盛な乗り継ぎ需要などにお応えするため、今後も機動的に必要な増便などを検討してまいります。

JALグループは、引き続き空港や機内の清掃・除菌を徹底し、安全・安心な空の旅を提供してまいります。

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

1. 8月のデリー線は、7月に続き羽田・成田合わせて計週4便を運航します。
2. 9月のコナ線は、8月に続き週3便を運航します。
3. 8月から成田=ロサンゼルス・フランクフルト線ならびに成田-シカゴ・バンコク線を増便します。

### <路線便数計画について>

#### ■ 2022年8月の路線便数計画(\*)

\*本日までに未発表のソウル路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
59	59	4,712	2,501	53%

#### ■ 2022年9月の路線便数計画(\*)

\*本日までに未発表のデリー・東アジア(香港以外)路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
41	41	3,000	1,010	34%

※上記減便率は2020年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

### <方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報についてはJAL Web サイト

(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>)をご参照ください。